

ぎふ農研NEWS

一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター

- 今号の話題
- ・新旧理事長ご挨拶
 - ・岐阜県の取り組み「ぎふ農業活性化基本計画」のご紹介
 - ・JA全農岐阜 土壌診断の取り組みについてのご紹介
 - ・ミニ知識 基準値_食品分類について etc

就任の挨拶

理事長 雨宮 功治

このたび、令和8年4月1日付けで一般社団法人ぎふクリーン農業研究センターの理事長の職を拝命いたしました「雨宮 功治(あめみや こうじ)」と申します。

安全・安心な農産物を求める消費者の期待に対応すべく、科学的な検査や調査、啓発等を行って県内農畜産業の健全な発展に寄与するという、当センターに求められる役割を十分に認識し、以前県農政部長として当センターの理事を務めた経験も活かしながら、事業運営に努めてまいります。



さて、先頃策定された「ぎふ農業活性化基本計画(R8~12年度)」では、安全・安心や環境への配慮、新鮮さ等、地域の消費者が求めるものを地域で生産・提供する「地消地産」の考えのもと、県民をはじめ消費者が、岐阜県産の環境にやさしい農産物を選ぶような制度の展開を図ることが盛り込まれております。

こうした中、県下JAグループとの密接な連携の下、当センターの迅速かつ正確に残留農薬分析や土壌分析等を行う高い技術力により、数値に裏付けされた「安全・安心」な農産物を消費者に提供する仕組みを確実に機能させることが、これまで以上に求められると考えます。

役職員一同、今後とも一層努力してまいりますので、引き続き関係各位のご支援とご協力をお願いいたします。

野菜の花

今回は春に咲くマメ科の花を掲載しました。

上段はサヤエンドウの白花です。マメ科エンドウ属の野菜で、若いさやごと食べるのが特徴のエンドウ豆の一種です。日本では春を代表する食材として親しまれています。花の色は赤と白があり、白花のほうが育てやすく収量も多いようです。

下段はソラマメの花です。マメ科ソラマメ属の一年草で、古くから世界各地で食用とされてきました。さが上向きに実るため「空豆」と呼ばれます。豆は大きく、ほくほくした食感とほんのり甘みがあり、塩ゆで、焼き物、スープ、天ぷらなど幅広く使われています。

撮影：平工 孝義

岐阜県農政 新たな基本計画のご紹介



岐阜県では、本県の農業が直面する課題への確に対応するため、令和8年(2026年)度に新たな基本計画が策定されました。この度、県農政部にご協力いただき、紹介記事をご執筆いただきました。

次世代へつなぐ、岐阜の農業ビジョン「ぎふ農業活性化基本計画」を策定

■問/県農政課 ☎058(272)8415

全国では令和12年に令和2年比で半減するおそれがあるなど、農業従事者の急減が進むなか、地域農業を牽引する経営体を核に多様な担い手が支え合う「ハイブリッド農業」への転換に向け、「アグリパーク構想」の推進や、消費者に選ばれる農畜水産物の生産拡大と需要創出等を進めます。

これらを通じ「楽しい農業・儲かる農業」を実現し、安全で安心な食料の安定供給を目指します。

4つの 基本方針

- 1 新たな担い手の確保
- 2 潜在力をフル活用した生産強化
- 3 新たな流通ルートの開拓、販路拡大
- 4 安心できる農畜水産業と農村の環境整備

また、基本方針3の取り組みとして、環境調和型農業と消費者をつなぐ新たな仕組みづくりとして、国の制度である「みどり認定」に、生産工程を管理し、安全・安心を確保するGAPの考え方を取り入れた、県独自の新たな認定制度を創設し、幅広い生産者の取組を促進します。併せて、新たな認定制度で生産された農産物の認知度向上と有利販売に向け、ロゴマークの表示等によるPR活動及び量販店や飲食店等の取扱店舗を活用したプロモーションを実施します。



なお、当センターでは、堆肥を活用した取組での認定等に必要となる土壌診断のための肥料成分分析や、農産物の残留農薬分析に対応しておりますので、ご活用ください。



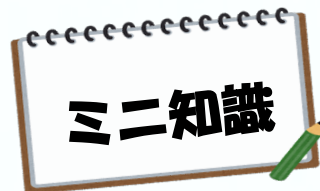
「みどりの食料システム戦略」実現のための土壌診断実施要領 (JA全農岐阜) が改訂されました。

2022年12月1日に施行されていた、JA全農岐阜の取り組みである「みどりの食料システム戦略」実現のための土壌診断実施要領 が2026年4月1日付で改訂されましたのでご案内します。なお、対象期間は2028年3月までです。

👉 主な改訂内容 👈

- ★助成対象の分析メニューからC3が削除され、遊離酸化鉄(Fe_2O_3) (追加メニュー)が追加されました。
- ★分析項目名が一部変更となりました。「トルオグ法リン酸」→『可給態リン酸』、「中性PB法ケイ酸」→『可給態ケイ酸』
(これに合わせ、弊社報告書も項目名を変更いたします。)

改訂に伴い、JA用依頼書様式3、4が変更されています。2026年度は変更後の様式をご利用ください。なお新様式は弊社サイト内ダウンロードのページからご利用できます。



『基準値』と『食品分類』



～だいこんは根と葉で分けて分析しなくちゃいけないってホント?～

だいこんは根と葉を分けて栽培するわけではありませんが、「根」と「葉」それぞれに基準値が設けられています。一緒に分析してしまうと、農薬が検出された際に根か葉のどちらに残留していたか分からず、評価が困難になってしまうため、分けて分析することが必須となります。

この基準値は「食品分類」毎に定められており、だいこんの根は「だいこん類の根」、だいこんの葉は「だいこん類の葉」という食品分類です。ある作物の基準値を調べたい場合、その作物がどの食品分類に該当するかを知る必要があります。当センターでは、ご依頼いただいた際に、その作物がどの食品分類に該当するかを必ず確認しています。報告書にはその基準値を成分と併せて記載しており、また、鑑には「食品分類」を記載しております。今回は、そんな『食品分類』についてご紹介したいと思います。

農産物等の食品分類

食品分類は農産物だけでも140種類以上あります。次表にその一例を示しました。

食品名	食品分類	備考
苺	いちご	
玄米	米(玄米)	①
トマト	トマト	2025年度に依頼件数が多かった作物TOP5
なす	なす	
ほうれんそう	ほうれんそう	
ピーマン	ピーマン	② 外見は似ているのに食品分類が異なる作物例
甘長ピーマン(伏見甘長とうがらし)	その他のなす科野菜	
あおうり	しろうり	
とうがん	その他のうり科野菜	③ 収穫の時期によって食品分類が異なる作物例
さやえんどう(スナップエンドウ)	未成熟えんどう	
えんどうまめ	えんどう	
なつみかんの幼果	なつみかんの果実全体	
なつみかん	なつみかん	

- ① 当センターにご依頼いただく作物で2025年度に依頼件数が多かったTOP5です。全国的に生産量が多い農作物はそのままの食品分類で基準値が設定されていることが多いです。
- ② 外見は似ているのに基準値が異なる作物の一例です。やや小ぶりなピーマンや、万願寺とうがらしなどのやや大ぶりの甘長ピーマンなどはパッと見区別が難しいです。あおうり、しろうりなどは素人では区別が付きません。食品分類の確認時には依頼書にご記入いただく作物名が頼りになります。
- ③ 収穫の時期によって基準値が異なる作物例です。未成熟そら豆ーそら豆も同様です。なつみかんなどは幼果かそうでないかの区別がはっきりしていないため、どちらの食品分類かいつも悩まされます。

その他、希少例ですが、サンショウの果実では「サンショウの果実」と「その他のスパイス」の2つの食品分類があるものもあります。

その作物がどの食品分類になるかを明示した「食品分類表」が以下に見やすく整理されていますので、ご興味のある方はこちらをご覧ください。

<https://www.ffcr.or.jp/zanryu/reference-list/post-88.html>
 (公益財団法人 日本食品化学研究振興財団)



トピックス

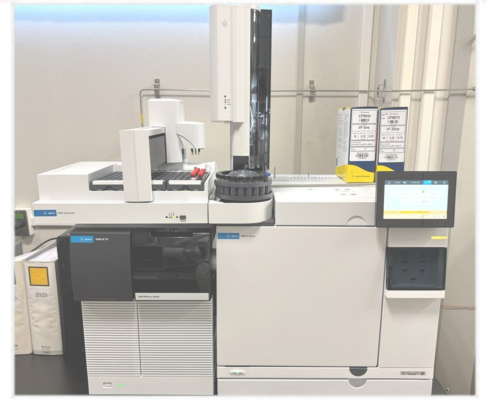
① GC-MS/MSを更新しました。

当センターメイン機種の一つであるGC-MS/MSを更新いたしました。性能も一段階上になり、より精度の高い分析が可能となりました。この4月から新装置を用いた分析結果を報告しております。

なお、装置購入にあたり県の「元気な農業産地構造改革支援事業費補助金」を活用させていただきました。

② 視察研修を受け入れています。

コロナ禍以来久しぶりに視察研修のお申し込みをいただき、令和7年度に県外3団体の視察をお受けしました。視察では残留農薬分析や土壌分析に関連した話題を提供しております。ご興味のある方、視察研修先をお探しの方はどうぞご利用ください。



ご依頼お待ちしております♪



退任の挨拶

前理事長 平工 孝義

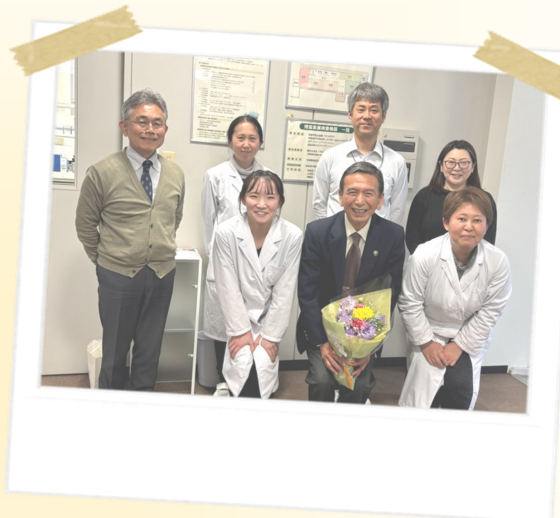
令和8年3月31日をもちまして、(一社)ぎふクリーン農業研究センター理事長を辞任いたしました。皆様方にはこれまでひとかならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当センターでは、理事として13年、理事長として8年務めさせていただきました。農薬残留分析や土壌分析を通じて安全・安心な岐阜県の農産物を消費者の皆さんにお届けするという重要な仕事の一端を担うことができ、本当にうれしく思っています。このように大過なく任を果たすことができましたのも、会員であるJAグループや岐阜県、岐阜大学をはじめ多くの関係機関の方々のご支援・ご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

後任の理事長は両宮功治様に引き継ぎましたので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

当センターのますますのご発展をお祈りし、退任の挨拶と致します。

長い間大変お世話になりました！



編集後記

春といえば卒業、入学、就職、人事異動の季節ですね。出会いや別れ、そして新たな場所でスタートを切る、皆がいろんな思いをかかえながら人生を歩んでいく、素晴らしい季節だと思います。

センターでも4月より理事長が交代し、寂しい別れと同時に新たなステージへの幕開けを感じた新年度となりました。新理事長を筆頭に職員一丸となって努力してまいりますので、今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。(S.I.)

一般社団法人
ぎふクリーン農業研究センター

〒500-8367

岐阜市宇佐南4丁目11番5号

TEL : 058-276-5072 FAX : 058-276-5074

URL : <https://www.gifu-cal.or.jp>

↑過去の記事は当センターのホームページでご覧になれます